平成２８年度　伊那市学校人権同和教育実践計画概要

学校名　　伊那市立長谷小学校

テーマ　　身のまわりにあるさまざまな差別を具体的に取り上げることを通して，差別や偏見に気づき，差別されている人たちの心の痛みに共感し，それをなくしていこうと実践していく力を育てる。また，差別を許さない豊かな人権感覚を，全教育活動の中で育てる。

	学年	人権課題（※1）	扱う資料等	取組内容（箇条書で簡潔に）
学年ごとの取り組み予定	1	①人権一般 （自他の尊重）	・保育園との交流 ・あいさつ	・年長児との交流を通して，年下の子どもへの接し方を考える。 ・あいさつを交わし，その嬉しさを味わう。
	2	①人権一般 （自他の尊重） ⑤障害者	・聴覚障害のある方との交流 ・ふわふわことばとちくちくことば	・聴覚障害のある方との交流を通して，理解を深める。 ・普段使っている言葉について考え，「ふわふわことば」を使う。
	3	①人権一般 （自他の尊重） ④高齢者	・施設の方との交流 ・こころにつぼみが	・施設の方との交流を通して，高齢者への接し方を考える。 ・相手のことを思いやったり，感謝の気持ちをもったりする。
	4	①人権一般 （自他の尊重） ⑤障害者	・視覚障害のある方との交流 ・無人島ＳＯＳ	・視覚障害のある方との交流を通して，理解を深める。 ・自分と異なる意見や立場を認め合えるようにする。
	5	①人権一般 （差別の立ち向かう意欲） ④高齢者	・福祉体験 ・堅い握手	・お年寄りのお話や福祉体験を通して，高齢者への理解を深める。 ・いじめや差別に立ち向かう勇気と強い心をもつ。
	6	⑨インターネット携帯人権侵害 ⑥同和問題	・一緒に考える友だち ・あなたはどう思う	・部落差別の歴史を学び，差別を許さない気持ちを育てる。 ・インターネット等で自他共に傷つけない態度を育てる。
人権同和教育推進上の悩み			子どもたちの心に響く資料や講演とはどんなものか。	

				①講師決定理由・人権課題 ②工夫改善点 ③取組内容・新たな取組等
児童	研修講演会	テーマ/タイトル	未定	①子どもたちが様々な困難に負けずに，生きていく力を身につけてほしいという願いから。
		講師名・所属等	城取　茂美さん（元西箕輪公民館長）	
	アンケート等		QUｱﾝｹｰﾄ　実施学年　４～６年　実施回数　２回 その他　・学校生活、学校評価アンケート	②ＱＵアンケートをここが抱える悩み，学級の課題を理解し，具体的な支援をする資料として活用する。
	児童会の取組		③・あいさつ運動　・ともだちサークル，なかよし集会　・なかよし清掃 ・なかよしタイム　・なかよし弁当　・読み聞かせ	
保護者	研修講演会	テーマ/タイトル	長谷っ子の健康を考える集い・・・全校「子どもの健やかな育ちをめざして」	①親だけでなく，保護教・職員が一体となって子どもたちの健やかな育ちについて考えることが必要なため。
		講師名・所属等	渡辺敏明先生（信州大学教育学部）	
	家庭への発信・連携		③人権同和教育授業参観・学級懇談 ・学級だより，学校だより	
職員	研修講演会	テーマ/タイトル	教職員の人権意識の向上	①児童の人権意識を高めるためには，まず教職員の人権意識を高める必要があるため。
		講師名・所属等	南部教育事務所　指導主事（予定）	
	校内組織の取組		③具体的指導法 ・地域資料，実践事例等の紹介	
○地域組織、他学校、福祉施設との交流・連携 ○地域への発信等			②③・高齢者クラブのみなさんとのよもぎ採り，運動会への招待 ・地域の方の郷土料理指導，しめ縄作り指導，クラブ講師，ピアノ伴奏 ・長谷中学校との職員交流 ・学校だより「やまびこ」全戸配布	

【※１】人権課題について（　下記から選んで記入してください。記入例「　④障害者　」　　）
①人権一般（生命尊重、自尊感情、コミュニケーション能力等）　②女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）男女平等　③子ども（いじめ、こどもの権利等）　④高齢者　⑤障害者　⑥同和問題　⑦アイヌの人々　⑧外国人　⑨インターネット、携帯電話等による人権侵害　⑩HIV感染者、ハンセン病患者　⑪刑を終えて出所した人　⑫犯罪被害者　⑬北朝鮮当局による拉致被害者問題　⑭性的指向に関わる問題　⑮満州開拓団・中国帰国者　⑯東日本大震災